



知的障害のある人の「成長ステップ」見える化 プロジェクト 2019



導入事例：
ソニー希望・光株式会社
(ソニー株式会社特例子会社)

※2020年2月取材

エンゲージメントの向上には、 組織で働くすべての人の「成長実感」が欠かせない

「多様な個性を活かし、信頼される存在として成長し続け、すべての人の心を豊かにする」というビジョンのもと、力強いリーダーシップで新しい障害者雇用の在り方に挑戦する大庭社長。これからの障害者雇用の進む方向性を、現場で思考しながらプロジェクトに携わったサポーターと共に「知的障害のある人の『成長ステップ』見える化プロジェクト」についてお話を伺った。（部署・役職はインタビュー当時）

ソニー希望・光株式会社 代表取締役社長 大庭 薫様
業務サポートⅠ課サポーター 関口 拓也様
オフィスサービス課サポーター 峯山 優子様・太田 裕子様

【会社プロフィール】

ソニー希望・光株式会社は、2002年4月にソニー株式会社の特例子会社として設立される。ソニー株式会社の創業者、井深 大氏の信念を受け継ぎ、障がいの有無に関わらず、だれもがチャレンジしながら成長できる職場環境づくりを進めている。主な業務内容としては、清掃、リユース・リサイクルなどの「オフィス環境整備」、社内メール集配、総務カウンター、研修テキスト印刷、名刺作成、人事・経理書類処理などの「業務サポート」に加え、新たな業務領域として、映像のデジタルアーカイブ、文字起こし、ソフトウェアQAなどの「IT・映像関連業務」にもチャレンジしている。ソニー希望・光株式会社HP：<https://www.sonykibou-hikari.co.jp/>

【実施概要】

本プロジェクトでは、ソニー希望・光株式会社で働く障害のある社員の皆様にも参加して頂き、日々の業務における『成長ステップ』を職場サポーターの方々と振り返りながら、お互いの「共通認識」を作り上げていきました。その上で、障害のある社員の方々が、現時点でどの成長ステップに位置しているのかを本人、会社側が双方に把握すると共に、仕事に対してどんな興味や思いをもって働いているのか、職業興味や価値観についても、目白大学大嶋研究室の協力のもと明らかにしました。こうして得られた社員の皆様の声から、誰もが成長できる職場環境とはどのような姿かを知り、今後の課題解決の可能性を探る機会としました。

01

背景と課題

今回、プロジェクトを導入されたきっかけを教えてください

大庭社長

ソニー希望・光の社員全員で考えた「ありたい姿」には、「信頼される存在として成長し続けたい」という言葉が入っています。では、成長とは何か？「Aさん、頑張っているよね。成長したよね。」「Bさん、頼りになるよね。」「Cさん、伸びているよね。」という会話はよく聞きますが、「いつに比べてどこまで成長したのか？」「では、Dさん、Eさんはどうなのか？」、サポーターによっても感じ方が違うのではないかと、共通の物差しの必要性を感じていました。そんな時に、Connecting Point の阿部さんから業務スキル、職業興味、価値観から成長ステップが見える化する取り組みをお伺いしました。個性豊かなソニー希望・光のスタッフ一人ひとりが、成長していく様が見える化され、一人ひとりの思いや価値観に寄り添うことができれば、本人、支援する側双方のエンゲージメント向上につながるのではないかと考えました。

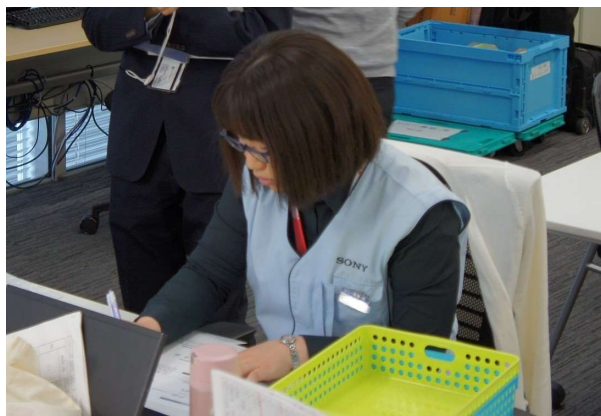
02

導入後の感想と成果

1 年間のプロジェクトを終えてのご感想を教えてください

大庭社長

今回のプロジェクトでは、スキル測定や対話やアンケートを通じて一人ひとりの現在地を知ることからチャレンジしました。それぞれの作業でサポーターとスタッフ間での対話が生まれ、また客観的なデータから普段薄々感じていたことを確認することも出来ました。



私自身の一番の気づきは、一人ひとりが仕事で大切にしていること、めざすことは違っても、「成長や貢献している」という実感を得たいという思いは誰もが共通して持っているということでした。だからこそ、成長や貢献をより実感できる仕組みが重要だということを改

めて認識しました。このプロジェクトから得た気づきや手法を活かして、全社員が相互に成長を確認し合える、安心して活躍できるインクルーシブな職場づくりを進めていきたいと思っています。

関口様

会社として未知の試みで、これまでサポーターの経験や勘に頼っていた部分を数値化しようとする手法は大変勉強になりました。スタッフ個々の分析結果につきましては、新しい発見よりも、これまでの自分の見立てが間違っていた事が確認できた気がします。「作業観察記録」を拝見すると、たった1回の検査で、これまで私が感じていた個々の特徴があぶり出され、そのまま文章化されている印象を受けました。今回の結果を踏まえて、想定していたほど個人差がつかなかった検査項目はどこかを深掘りして頂き、今後、日本中の特例子会社に導入されるツールに進化されることを願います

峯山様

いつもと違う目線で行うということで多少不安はありましたが、いざ検証やインタビューを行ってみると日々の仕事からは気付かなかった個々のメンバーのことや、こんなことに興味があるんだなということを色々知ることが出来ました。

太田様

普段行っている仕事とは違う分野の職業に対し、スタッフがどのような興味をもっているのか、その興味を形成しているもの（価値観）はどのようなものなのか、このプロジェクトを通して知ることができました。一緒に働く中では見えてこなかった、スタッフの新たな側面や思いを知るとても貴重な機会となりました。プロジェクトを行ってみての気づきに「誰か・何かに貢献できること、喜んでもらえることを重要視しているスタッフが多い」ことがありました。更に、「選んだ職業を通してなにを自分の強みとしてとらえているのか」を知ることにもなりました。この辺りがこのプロジェクトの素晴らしさだと思います。

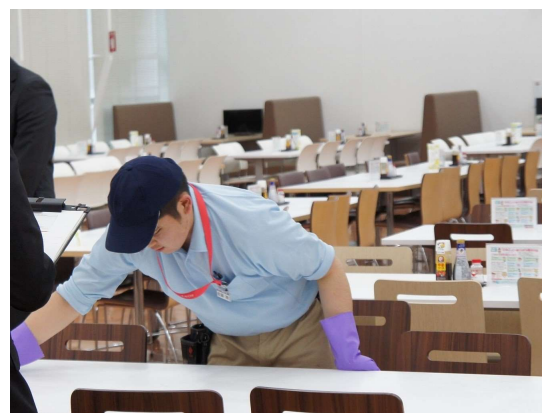
プロジェクトから得た気づきを、職場内でどのように活かしていきたいか、教えて下さい

峯山様

貴重な経験をさせて頂き良い機会となりました。今回のことを参考に個々の違いを認め、これからの業務に活かし効率良く進めるかたちにしたいと思います。また今後の新たなメンバーに対しても同様に成長に繋げることができるようチャレンジしていきたいです。

太田様

今回のプロジェクトで得られたスタッフひとりひとりへの気づきを業務を任せる際の役割分担に活かしています。もちろん、事前にスタッフには打診をしたり、始めてからもフォローは行いますが、これまでとは違った仕事を任せる力強い後ろ盾になってくれています。特に勤続年数の長いスタッフにとって、また新たな「やりがい」や「仕事への関心」を持つきっかけに繋がるといいなと期待しています。



今後、貴社が歩まれる5年後のビジョンを教えてください

大庭社長

ソニー希望・光は、特例子会社という枠に留まらず、一人ひとりが光り輝いている会社として、より豊かな社会づくりに貢献していくことをめざしています。その一環でAVやITテクノロジーを活用した新しい業務領域にもチャレンジし、ソニーグループの商品・サービスのアクセシビリティ向上や、より良い商品づくりにも貢献できればと考えています。これまでオフィス環境整備や事務サポートで培ってきたノウハウや得てきたクライアントからの信頼という大きな財産を大切に活かしながら、会社としても成長してまいります。そのためにも、誰もがありのままに能力を発揮できる安心できる職場づくりをめざしてまいります。

株式会社Connecting Point

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-1 SHIBUYA SOLASTA 3階

TEL : 090-1613-6084 E-Mail: info@connectingpoint.jp

URL: <https://www.connectingpoint.jp/>

